

日本をつなぐフリーマガジン 志縁 SHIEN

SHIEN

2013

8.11

TAKE FREE

特集

東北に 会い行こう。

志縁が提案する東北の歩き方 宮城編

対談企画 志縁 ^{かける} × ミュージシャン

猪苗代湖ズ 渡辺俊美

未来を守る防災録 岩手県釜石市

南三陸随一の海洋リゾートホテル。 南三陸 ホテル観洋



広がる水平線を眼前に温泉と露天風呂を楽しめ、朝日の昇る景観はまさに絶景。毎日入荷する新鮮な魚介類も大きな魅力。全244室、収容1300名。



南三陸 ホテル観洋 女将 阿部憲子さん

実は南三陸では震災後、自営業の7割が廃業しているんです。やはりこの地は、外から来て頂いた皆さんに経済を回してもらえないと思えます。この地でガソリンを入れるだけでも、お土産ひとつ買うだけでも、喜ぶ人がいるということを知って欲しいですね。

現在、当ホテルでは「震災を風化させないための語り部バス」を運行して、被災建物や震災前の町の風景を説明しています。最初は語る側も戸惑っていたのですが、お客様から「ずっと続けて欲しい」というお声を頂き、現在では使命感を持って行って

います。南三陸は知名度の低い場所でしたが、今後はぜひ学びの場にして頂きたいと思えます。

当ホテルの創業者は父で、元々は魚を売ることから商売を始めたのですが、昭和35年のチリ地震で全てを失ってしまいました。その後、新鮮な魚を提供するための旅館を始めようと、ロケーションが良くて人命も守れる高台の岩盤を選んで開業したのです。父の残した教訓のおかげで津波の被害を免れ、地元の方々の避難場所にもすることができましたし、また雇用も守ることができました。この教訓は子どもや孫の

代にも、風化させず伝え続けていかななくてはなりません。

どうか皆さんには被災地だからと構えないで、訪問して頂きたいと思えます。例えば「かがが震災であっても、「自然が豊か」や「魚が美味しい」などの言葉を頂くと、「自分達の頑張りで前に進んでいくんだ」という自信や希望に繋がります。

震災で失ったものは大きいですが、震災後に来て下さった志の高い方々との出会いはかけがえのないものです。観光業は裾野の広い商売ですので、自分たちの努力でこの地域を盛り上げていければと思います。

南三陸 ホテル観洋

〒986-0766
宮城県本吉郡南三陸町
黒崎 99-17
電話(代表) 0226-46-2442
FAX 0226-46-6200
<http://www.kanyo.co.jp/>